

平成24年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価の結果報告書

(平成23年度事業対象)

平成24年

宇土市教育委員会

【宇土市教育委員会委員名簿】

(平成24年12月25日現在)

職名	氏名	任期
委員長	木村 峰子	平成21年10月15日～平成25年10月14日
委員長職務代理者	伊豫 富久	平成23年10月1日～平成27年9月30日
委員	岩村 俊明	平成24年12月24日～平成28年12月23日
委員	長尾 忠	平成24年12月24日～平成28年12月23日
教育長	木下 博信	平成23年10月1日～平成27年9月30日

—目次—

I 点検・評価制度の概要	
1 経緯	1
2 目的	
3 対象事業の選定方法	
4 学識経験者の知見の活用	
5 教育委員会としての今後の方向性	2
II 教育委員会の活動状況	
1 委員会議の開催状況	3~5
2 その他の活動状況	5
III 点検・評価の結果	
1 特別支援教育事業(小学校)	6
2 特別支援教育事業(中学校)	7
3 コミュニティ・スクール事業(網田小学校)	8
4 コミュニティ・スクール事業(網田中学校)	9
5 コミュニティ・スクール事業(走湯小学校)	10
6 適応指導教室事業	11
7 心の教室相談員活用事業	12
8 そろばんの時間指導員派遣事業	13
9 学力向上支援事業	14
10 子ども議会事業	15
11 英語指導経費(英語指導委託事業)	16
12 イングリッシュ・サマーキャンプ事業	17
13 水俣に学ぶ肥後っ子教室事業	18
14 宇土小学校改築事業	19
15 宇土小学校校内情報網(LAN)整備事業	20
16 宇土小学校屋外環境整備事業	21
17 網津小学校屋外環境整備事業	22
18 放課後子ども教室推進事業	23
19 学校支援地域本部事業	24
20 人材活用事業	25
21 地域教育力活性化事業	26
22 図書館蔵書充実事業	27
23 史跡宇土城跡保存整備事業	28
24 文化財サイン計画事業	29
25 網田焼の里資料館活性化事業	30
26 馬門石調査活用事業	31
27 重要遺跡保存活用事業	32
28 文化振興対策事業	33
29 小西行長関連事業	34
30 大太鼓活用事業	35
31 宇土市歴史資料保存活用事業	36
32 体育施設等整備事業	37
33 給食センター施設整備事業	38

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成20年4月から施行されました。

地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第27条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行うことが義務付けられました。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。その役割は、事務局職員を、様々な属性を持った複数の委員による合議により、指揮監督し、中立的な意思決定を行うものです。

事務の点検・評価は、上記地教行法第27条の規定に基づき、教育委員会が、教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 対象事業の選定方法

点検評価の対象事業は、行政の政策や施策、事務事業を有効性、効率性などの視点から一定の物差し（指標）によって客観的に評価し、事務改善や分かりやすく透明性の高い市政運営につなげていくために実施された「宇土市事務事業評価」の評価体系に準じ、教育委員会が実施した全事務事業の中から、事業費が多額にわたるもの、社会的関心が高いものなど、事業の在り方を検証する必要性が高いと判断される33事業を選定しました。

4 学識経験者の知見の活用

地教行法第27条第2項の規定による有識者の知見の活用については、担当課が行った点検・評価（自己評価）の結果について、学識経験者を含む5人の外部評価委員に、対象事業についてのご意見をいただきました。

外部評価委員名簿

氏 名
西坂 早苗
緒方 勇
五島 靖士
長光 智法
山田 浩美

5 教育委員会としての今後の方向性

担当課自己評価に対する外部評価委員のご意見等を踏まえ、最終的に教育委員会としての今後の方向性を下記5つの中から選択しました。

拡充	事業規模・内容を、より拡大・充実し継続すべき事務事業
維持	概ね現在の方向性・規模のまま継続すべき事務事業
縮小	現在の方向性でよいが、事務規模については縮小方向で改善していくべき事務事業
改善	現在の方向性から見直し、規模・手法等について改善を図るべき事務事業
完了	完了した事務事業

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 教育委員会の活動状況

1 委員会議の開催状況

宇土市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催しています。

この会議において、5名の教育委員（教育長1名を含む。）が教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定改廃など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、重要事項について事務局から報告を受けています。

平成23年度の教育委員会会議の開催状況は次のとおりです。

期日	場所	付議事件
平成23年4月25日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>平成23年度学校評議員の委嘱について</p> <p>平成23年度幼稚園評議員の委嘱について</p> <p>平成23年度宇土市立小中学校教務主任等の任命について</p> <p>平成23年度宇土市学校教育努力目標について</p> <p>平成23年度宇土市幼稚園教育努力目標について</p> <p>学校運営協議会の指定及び学校運営協議会委員の任命について</p> <p>宇土市立網田小・中学校 学校運営協議会委員の解任について</p> <p>宇土市立網田小・中学校 学校運営協議会委員の任命について</p> <p>平成23年度宇土市生涯学習努力目標について</p> <p>平成23年度宇土市人権教育推進努力目標について</p> <p>平成23年度宇土市図書館努力目標について</p> <p>平成23年度宇土市文化振興努力目標について</p> <p>宇土市民会館指定管理者運営評価委員会委員の委嘱について</p> <p>宇土市歴史資料館保存活用事業運営委員会設置条例について</p> <p>平成23年度宇土市社会体育努力目標について</p> <p>スポーツ功労者及び優秀者の表彰について</p> <p>平成23年度宇土市学校給食センター努力目標について</p>
平成23年5月20日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	<p>(議決事項)</p> <p>平成23年度宇土市奨学生新規採用者の選考について</p> <p>宇土市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について</p> <p>宇土市立幼稚園の保育料減免に関する規則の一部を改正する規則について</p> <p>宇土市社会教育委員の委嘱について</p> <p>宇土市公民館運営審議会委員の委嘱について</p> <p>宇土市立図書館協議会委員の委嘱について</p> <p>藩窯網田焼復元検討委員会設置条例を廃止する条例について</p> <p>宇土市スポーツ振興審議会委員の任命について</p> <p>宇土市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</p> <p>平成23年度宇土市小中連携推進に関する実践研究校の指定について</p>

平成23年6月8日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 史跡宇土城跡保存整備検討委員会委員の委嘱について 宇土市学校給食専門委員会委員の委嘱について
平成23年7月11日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市招致外国青年任用規則の一部を改正する規則について 宇土市教育委員会外部評価委員の委嘱について
平成23年8月10日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市スポーツ振興審議会に関する条例の一部を改正する条例について 宇土市体育指導委員の設置に関する規則の一部を改正する規則について
平成23年8月12日 (臨時会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 平成24年度に使用する中学校教科用図書の新採択について
平成23年9月8日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市教育委員会教育長職務代理者の指定について 平成23年度第1回心身障害児就学指導委員会にかかる就学答申について
平成23年10月3日 (臨時会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市教育委員会教育長の任命について 宇土市教育委員会委員長職務代理者の指定について
平成23年10月12日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 平成23年度第2回心身障害児就学指導委員会にかかる就学答申について 宇土市民会館指定管理者運営評価委員会委員の委嘱について
平成23年11月11日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市奨学基金条例の一部を改正する条例について 宇土市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果について
平成23年12月12日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 専決処分の報告及び承認を求めることについて 平成23年度宇土市立鶴城中学校教務主任の任命について 中学校指導要録の様式2の変更について 宇土市立幼稚園保育料の改定について 宇土市文化財保護審議会委員の委嘱について
平成23年12月21日 (臨時会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則について 宇土市教育委員会委員長の選挙について
平成24年1月11日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 宇土市教育委員会組織規則の一部を改正する規則について 佐野山王祭礼の宇土市重要無形民俗文化財指定について

平成24年2月13日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 児童・生徒の表彰について 宇土市地域コミュニティセンター条例について 宇土市重要遺跡保存活用検討委員会設置条例について 宇土市民会館条例の一部を改正する条例について 宇土市立図書館条例の一部を改正する条例について
平成24年3月9日 (定例会)	教育委員会 2階会議室	(議決事項) 平成24年度宇土市中心の教室相談員の委嘱について 宇土市社会教育指導員の委嘱について 学校給食センター給食用物資納入業者の指定について 学校給食センター給食費不納欠損処分について

2 その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、適宜、各種会議、関係行事へ出席するなどしています。

平成23年度における、その主な活動は次のとおりです。

- 宇城市町教育委員全員研修会
- 教育委員行政視察研修
- 熊本縣市町村教育委員大会
- 学校訪問
- 各小中学校入学式・卒業式
- 各幼稚園運動会・各小学校運動会・各中学校体育祭
- 成人式典
- 学校給食試食会
- その他各種イベント事業への出席

Ⅲ 点検・評価の結果

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	特別支援教育事業(小学校)	担当課	学校教育課
事業目的	発達障害を含む障がいのある児童や特別な配慮を必要とする児童に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行い、自立することができるよう支援する。		
活動内容	<p>市立7小学校において、特別支援学級は10学級(自閉症・情緒障害5学級, 知的障害1学級, 肢体不自由1学級, 難聴2学級, 弱視1学級)あり, 児童数は29人である。また, 小学校2校に通級指導教室を設置している。</p> <p>市単独財源で非常勤講師を5人配置, 市単独財源以外に緊急雇用創出事業を活用して, 非常勤講師を8人配置した。</p>		
予算額・決算額	<p>予算額</p> <p>11,461千円</p>	<p>決算額</p> <p>11,317千円</p>	
担当課 自己評価	<p>担任以外に非常勤講師を配置することにより, 発達障害を含む障がいのある児童や特別な配慮を必要とする児童に対して, 一人ひとりの状態に応じた, よりきめ細かい適切な教育的支援を図ることで, 児童が自立することに繋がっている。</p>		

<p>(外部評価委員の意見)</p> <p>○市単独財源で配置した非常勤講師の指導力・資質等が大切である。事業成果を高めるために、今後ともに優秀な非常勤講師の確保・採用に配慮をお願いする。</p> <p>○発達障害を含む障がいのある児童は、大切なことを教えてくれるという一面がある。共に助け合いながら学んでいくというチャンスだと感じる。この事業は拡充すべきである。</p> <p>○支援の必要な児童が増えていると思う。より専門的な知識のある講師の充実が必要と思われる。</p>
--

<p>教育委員会としての 今後の方向性</p>	<p> <input checked="" type="radio"/> 拡充 ・ <input type="radio"/> 維持 ・ <input type="radio"/> 縮小 ・ <input type="radio"/> 改善 ・ <input type="radio"/> 完了 </p>
-----------------------------	--

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	特別支援教育事業(中学校)	担当課	学校教育課
事業目的	発達障害を含む障がいのある生徒や特別な配慮を必要とする生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行い、自立することができるよう支援する。		
活動内容	市立3中学校において、特別支援学級は5学級(自閉症・情緒障害3学級、知的障害2学級)あり、生徒数は18人である。 市単独財源で非常勤講師を3人配置、市単独財源以外に緊急雇用創出事業を活用して、非常勤講師を4人配置した。		
予算額・決算額	予算額 5,733千円	決算額 5,687千円	
担当課 自己評価	担任以外に非常勤講師を配置することにより、発達障害を含む障がいのある生徒や特別な配慮を必要とする生徒に対して、一人ひとりの状態に応じた、よりきめ細かい適切な教育的支援を図ることで、生徒が自立することに繋がっている。		

(外部評価委員の意見)

○発達障害を含む障がいのある生徒は、大切なことを教えてくれるという一面がある。共に助け合いながら学んでいくというチャンスだと感じる。この事業は拡充すべきである。

○生徒の自立にむけた支援の充実がますます必要と思う。

教育委員会としての 今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 完了
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	コミュニティ・スクール事業(網田小学校)	担当課	学校教育課
事業目的	保護者・地域住民が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となって、より良い教育の実現に取り組む。		
活動内容	学校運営協議会の実施(年6回)、また、6つのコミュニティ(学校地域安全、ボランティア活動、PTA活動、網田教育の日、学校社会行事、文化体験)を実践した。		
予算額・決算額	予算額 170千円	決算額 150千円	
担当課 自己評価	学校運営協議会を実施(年6回)し、学校目標の共有化を図ることができた。また、6つのコミュニティ(学校地域安全、ボランティア活動、PTA活動、網田教育の日、学校社会行事、文化体験)の実践を行うことで、活性化を図ることができた。		

(外部評価委員の意見)

○学校運営に参画する保護者、地域住民の方々には有難いことであるが、学校の内部情報・個人情報の守秘義務、営利・宗教・政治活動の禁止についてのルールが大切な問題と思う。

○地域ぐるみで子どもを支援するという良いモデルだと考える。

○より良く学校教育の活性化が図られているのならば、維持する必要があると思う。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	------------------------------------

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	コミュニティ・スクール事業(網田中学校)	担当課	学校教育課
事業目的	保護者・地域住民が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となって、より良い教育の実現に取り組む。		
活動内容	学校運営協議会の実施(年6回)、また、6つのコミュニティ(学校地域安全、ボランティア活動、PTA活動、網田教育の日、学校社会行事、文化体験)を実践した。		
予算額・決算額	予算額 433千円	決算額	316千円
担当課 自己評価	学校運営協議会を実施(年6回)し、目標の共有化を図ることができた。また、6つのコミュニティ(学校地域安全、ボランティア活動、PTA活動、網田教育の日、学校社会行事、文化体験)の実践を行うことで、活性化を図ることができた。		

(外部評価委員の意見)

○学校運営に参画する保護者、地域住民の方々には有難いことであるが、学校の内部情報・個人情報の守秘義務、営利・宗教・政治活動の禁止についてのルールが大切な問題と思う。

○地域ぐるみで子どもを支援するという良いモデルだと考える。

教育委員会としての
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	【新規】 コミュニティ・スクール事業(走湯小学校)	担当課	学校教育課
事業目的	保護者・地域住民が一定の権限と責任をもって学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となって、より良い教育の実現に取り組む。		
活動内容	コミュニティプランの検討を行い、4つのコミュニティ(思考, 洗心, 鍛練, 安全・環境)を構成し実践した。		
予算額・決算額	予算額 535千円	決算額	396千円
担当課 自己評価	学校, 家庭, 地域との連携強化のため, 情報収集と発信を行い, 学校運営協議会を核とした学校, 家庭, 地域のネットワークの構築を図ることができた。		

(外部評価委員の意見)

○学校運営に参画する保護者, 地域住民の方々には有難いことであるが, 学校の内部情報・個人情報の守秘義務, 営利・宗教・政治活動の禁止についてのルールが大切な問題と思う。

○コミュニティスクールは今後の目指す教育として評価できるし, 全校に広げてほしい。

○地域ぐるみで子どもを支援するという良いモデルだと考える。

○学校・家庭・地域の連携は大切なので, 維持していく必要があると思う。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	------------------------------------

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	適応指導教室事業	担当課	学校教育課
事業目的	心理的または情緒的な原因により、登校できない児童生徒に対し、相談・指導等を行うことにより、学校復帰を支援し、登校できない児童生徒の社会的自立を育てる。		
活動内容	<p>○保護者や学校との連絡会は、必要に応じスクールカウンセラーの助言を受けながら、定期及び随時の会議を開くことができた。</p> <p>○校外学習においては、個々の特性を踏まえ進めていくことができた。特に宇土市の史跡巡りでは、その後の調べ学習等に発展させることができた。</p> <p>○中学1年生は、時々登下校時に来室しながらも一年を通して登校できた。小学6年生は、少しずつ学校での滞在時間を増やし、級友との交流に自信をつけ、修学旅行にも参加することができた。</p>		
予算額・決算額	予算額 3, 660千円	決算額 3, 590千円	
担当課 自己評価	児童生徒の個々の特性に応じ、学校復帰の手立てを行ったことで、2人ともステップアップし、修学旅行等の行事にも参加し学校へと繋ぐことができた。		

(外部評価委員の意見)

○家庭的な問題も多いと思う。親への指導等も充実できれば良いだろうが、難しいだろう。せめて、子どもを社会で育てていくという観点からも、是非充実させてほしい。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	心の教室相談員活用事業	担当課	学校教育課
事業目的	生徒が心にゆとりをもって就学することができる教育環境を整えるため、生徒が抱える悩み、不安等を気軽に相談することで、ストレスを解消し、学校生活が楽しいという思いを持たせる。		
活動内容	悩みや不安(生徒同士の人間関係や生活習慣の乱れ等)を抱える生徒に対し、日常的な会話などを通して気軽に相談できる環境づくりに努めたことや、生徒がより充実した集団生活を送れるよう生徒、先生、保護者との連携強化を図った。		
予算額・決算額	予算額 1,599千円	決算額 1,469千円	
担当課 自己評価	悩みや不安等を抱える生徒に対し、日常的な会話などを通して気軽に相談できる環境づくりに努めたことや、生徒がより充実した集団生活を送れるよう生徒、先生、保護者との連携強化を図ったことで、生徒の悩みや不安が軽減あるいは解消している。		

(外部評価委員の意見)

○いじめ自殺が大きな社会問題になっているこの頃、各学校でいじめのアンケートをとり、些細なことでも見逃さぬよう、保護者との連携をとり、更に強化してほしい。

○いじめの問題等の早期発見にもなるのではないかと思います。相談員の資質の充実を図り、成果をあげてほしい。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	-----------------------------

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	そろばんの時間指導員派遣事業	担当課	学校教育課
事業目的	児童生徒の計算力、集中力を高め、向上心及び主体的に取り組む態度を育てるとともに、算数・数学の学力向上を図る。		
活動内容	文部科学省の特例措置の認定を受け、1学級あたり鶴城中校区、住吉中校区の小学校3・4年生は年間25時間、小学校5・6年生及び中学校1・2年生は、年間20時間の「そろばんの時間」を実施した。		
予算額・決算額	予算額 5,427千円	決算額 4,537千円	
担当課 自己評価	児童生徒の感想・意見、教職員及び保護者のアンケート調査から、計算力(暗算も含む)、集中力の能力の育成に効果があったことが分かる。また、検定合格などの目標を立て、その目標に向かって計画的に練習し、進んで学習に活用しようとする態度を育成することができている。そろばんの学習内容の理解については、各学年90%~80%の間で分かったと応えており、各学年の校内検定試験の合格率も高い。		

(外部評価委員の意見)

○アンケートに問題がある。そろばん自体はそれなりに効果があるのは事実。そろばんについてのみのアンケートでは肯定する答えが出るのは当たり前である。よりベター、ベストなものはないかを知る必要がある。そろばんの時間をするか、算数・数学の時間を設定するか、どちらを選択するか、算数・数学以外でもいい。他と比較しての答えを求めるべきだと思う。授業時数の確保に必死になっている学校の現状からして、より有効なものに変更してほしい。

○限られた授業時数であるから、指導内容も精選(減らす)し、繰り返し学習することで、個人差拡大、学習意欲減退等も、ある程度解決できると思う。
また、そろばん講師2人、担任1人の3人体制は良いと思う。なぜならば、アンケートの「ひたすら我慢の時間、効果も期待できる状況ではない。やめてもいいのでは。」「教職員の負担にならないように。」等の意見・感想の解消につながるのではないかと思う。

○そろばんという道具を使いこなすことにより、集中力や暗算力がつくことは確かなことだと考える。今の子どもはゲーム、携帯等の機械は上手に使いこなすことは出来ても、小刀で鉛筆を削ったりと手先を使うことは苦手だと思う。学校教育は目先の成績のことばかりにとらわれず、そろばんを学ぶことのメリットを最大限に活かす等、生涯教育の一環として支援することも必要ではないか。

○以前のように、小学校3・4年生ぐらいでそろばんの基礎を学習するぐらいで良いと思う。別の形での計算力・集中力の強化を充実させた方が良いのではないか。

○平成26年度以降については、そろばんの特例校の申請をしないでほしい。

教育委員会としての今後の方向性	平成25年度は、教育課程特例校を認められているため、「そろばんの時間」を実施する。平成26年度以降については、今後検討する。
-----------------	--

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学力向上支援事業 【平成25年度から教育力向上支援事業へ 名称変更】	担当課	学校教育課
事業目的	教職員の授業力を高め、学校全体の教育活動を充実させることにより、児童生徒の学力向上や豊かな心の育成及び学級経営等の改善を図る。		
活動内容	<p>○指導員による定期的な授業改善指導訪問を通して、教職員の指導力向上等が図られている。</p> <p>○学習の基礎となる学習訓練等については、教職員の取り組みに効果が表れており、授業における学習指導の充実に繋がってきている。</p> <p>○小中学校の教職員を対象にした中堅教員養成講座は、教職員に学校における組織体の一員としての自覚が高まり、校長の意を体した学校の核として取り組みができるような人材の育成に繋がってきている。</p>		
予算額・決算額	予算額 4,033千円	決算額 3,901千円	
担当課 自己評価	指導員による定期的な授業改善指導の実施や、中堅教員を対象にした中堅教員養成講座を毎月第2水曜日に開催したことで、教職員の指導力向上等が図られた。		

(外部評価委員の意見)

○県教育委員会への要望になるが、秋田県の児童生徒の成績トップの常連県を参考にして県としての対策を具体的に進めてほしい。

○事業成果や自己評価も全体的には妥当かもしれない。しかし、授業以前の教師の指導姿勢に欠いている点がある。そういう先生にこそ指導員の指導は重点的に向けられるべきではなかろうか。

○教職員の指導力のアップ、資質の向上が、児童生徒の学力の向上につながると思うし、管理職の先生方の学校運営能力向上により、学校が一丸となって教育の充実が図られると思うので、是非強化してほしい。

教育委員会としての 今後の方向性	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;"> 拡 充 </div> ・ <div style="margin: 0 10px;">維 持</div> ・ <div style="margin: 0 10px;">縮 小</div> ・ <div style="margin: 0 10px;">改 善</div> ・ <div style="margin: 0 10px;">完 了</div> </div>
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	子ども議会事業	担当課	学校教育課
事業目的	身近な問題から自分たちが暮らす地域の諸問題や将来のまちづくりについて、子どもの自由な発想や視点から捉えた質問や意見を発表するとともに、市としても、子どもたちから出された提案や要望などを、今後の市政運営に活用するために開催する。このことを通して、児童生徒が行政や市議会の仕組みを学ぶ場にするとともに、自ら考え判断し、表現するなどの力をつける場とする。		
活動内容	宇土市内の各小中学校(宇土中学校含む、計11校)から代表して2人ずつ選出してもらい、教育関係、環境問題等、幅広い議題について発表してもらおう。子ども議会は今年度で第4回目となり、児童生徒は、行政や市議会の仕組み、また地域の問題・課題を学ぶことができ、貴重な体験の場となった。		
予算額・決算額	予算額 186千円	決算額	168千円
担当課 自己評価	模擬市議会を体験することで、行政や市議会の仕組み、また地域の問題・課題を学ぶことができ、貴重な体験の場となった。		

(外部評価委員の意見)

○貴重な体験であるので続けてほしい。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	------------------------------------

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	英語指導経費 【平成24年度から英語指導委託事業へ名称変更】	担当課	学校教育課
事業目的	コミュニケーション力を高め、英会話能力を身につけることで、国際化社会に対応する人材を育成する。		
活動内容	○幼稚園においては、全園児が生英語に接し、遊びの活動の中で、外国人と触れ合う楽しさや外国の文化を学ぶことができた。 ○小学校においては、英会話指導力の優れた外国人講師が授業の補助を行うことで、コミュニケーション能力の向上に繋がった。 ○平成23年度派遣校等		
	学校名	活動学年	派遣回数
	花園小学校	全学年	102
	走潟小学校		36
	緑川小学校		23
	宇土幼稚園		20
花園幼稚園	20		
備考 1回につき7時間 ただし緑川小学校は2学期から派遣開始 1回につき3時間			
※この事業の他に、外国青年招致事業でALT(外国語指導助手)を学校へ派遣しているが、ALTだけでは、全ての学校への対応が困難であるため、対応しきれない小学校へ派遣している。			
予算額・決算額	予算額 3,675千円	決算額 3,635千円	
担当課自己評価	英会話指導力が優れた外国人講師を幼稚園及び小学校に派遣し、目的に応じた授業を実施することができた。		

(外部評価委員の意見)

○小規模でも英語によるスピーチ大会はいかがでしょう。隣の富合小学校では外国人訪問者に英語であいさつ、観光ガイドなど行っている。

○国際化社会において、幼い頃より外国人とのふれあいは大切。是非続けてほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
-----------------	------------------------------------

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	【新規】 イングリッシュ・サマーキャンプ事業	担当課	学校教育課
事業目的	将来を担う青少年が外国人と一緒に生活し、お互いの文化・習慣・ものの考え方の違いを実際に体験することで、国際感覚を養うとともに、国際化時代におけるコミュニケーションに欠かせない英語に興味をもち、英語を話せるようになりたいと思うきっかけづくりとし、積極性や自主性、コミュニケーション能力を身につけた「世界に羽ばたく人材」育成を図る。		
活動内容	学校の授業とは違った交流活動の中で、ALT(外国語指導助手)と英語で触れ合う機会を設けたことで、英語を話せるようになりたいと思う良いきっかけづくりとなった。 【対象者】 市内小学校4～6年生 【ALT数】 5人(うち市外ALT1人) 【活動内容】 ・英語活動Ⅰ(ハリーポッターゲーム ほか2ゲーム) ・英語活動Ⅱ(カラービンゴ) ・焼き杉作り 参加者は70人を予定していたが、実際の参加者は27人で少なかったこと等により、決算額は86千円となった。		
予算額・決算額	予算額 273千円	決算額 86千円	
担当課 自己評価	外国人と一緒に触れ合うことで、お互いの文化・習慣・ものの考え方の違いを実際に体験することができた。また、国際化時代におけるコミュニケーションに欠かせない英語に興味をもち、英語を話せるようになりたいと思うきっかけづくりになった。		

(外部評価委員の意見)
特に意見なし

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	------------------------------------

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	水俣に学ぶ肥後っ子教室事業	担当課	学校教育課
事業目的	<p>水俣への現地訪問を実施し、水俣病資料館や水俣病情報センターなどでの体験を通して水俣病についての正しい理解を図るとともに、「もやい直し」を合い言葉に人々の絆、環境再生へと立ち上がる水俣の姿を間近に体感させることで、環境の保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成する。</p> <p>また、「水俣病」の原因と差別の歴史を学習し、差別の理不尽さと立ち上がり闘ってきた人たちの努力を学ぶことで、水俣病に対する差別や偏見をなくしていこうとする意識が高まるようにする。</p> <p>さらに、学習した成果を地域住民へ啓発(少年の主張大会で発表等)することで、持続可能な社会構築に向けた広がりのある取り組みに発展させる。</p>		
活動内容	<p>市内小学校5年生を対象に、水俣市の環境関連施設を訪問し、語り部の方の話や環境問題についての講話を聴くことや、資料の閲覧、実験等を通して人権教育及び環境について学習した。</p> <p>(訪問先 熊本県環境センター、水俣市立水俣病資料館、国立水俣病情報センター)</p>		
予算額・決算額	<p>予算額</p> <p style="text-align: right;">648千円</p>	<p>決算額</p> <p style="text-align: right;">521千円</p>	
担当課 自己評価	<p>公害の原点である水俣病を通して、公害の被害から環境再生へと立ち上がる水俣の姿を、現地を訪問することにより、体験を通して学ばせることができた。また、語り部の方の話を聞くとともに資料館等での学習で、差別の理不尽さと立ち上がり闘ってきた人の努力を学び、差別をなくしていこうとする意欲が高まった。事前・事後指導を各学校徹底した。2月にはハートフルフェスタにおいて、緑川小の5年生が水俣で学んだことを市民の前で発表し、啓発することができた。</p>		

(外部評価委員の意見)

○「水俣に学ぶ」ことは大変重要である。目的や内容、自己評価からは“水俣に学ぶ”一本に絞った表現ともとれる。環境の保全、環境問題は「水俣に学ぶ」を中心に据えながらも、広い視野、広い内容、身近なもの等にも柔軟性を持って取り込んでほしい。

○環境問題、人権教育どちらも大切な学習である。名称を「水俣に学ぶ肥後っ子教室事業」としたことで、水俣を学ぶ内容なのだと理解できる。

教育委員会としての 今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>
---------------------	--

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	宇土小学校改築事業	担当課	学校教育課
事業目的	<p>学校施設は、子どもたちにとって一日の大半を過ごす場所であり、豊かな人間性を育むための空間である。 また、地域住民にとっては防災拠点としての重要な役割も担っているため、安全で安心な学校施設として整備する。</p>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎・屋内運動場改築事業(本体・電気・機械設備工事H23. 7. 15竣工) ・既存校舎解体事業(H23. 11. 30竣工) 		
予算額・決算額	<p>予算額</p> <p style="text-align: right;">678. 821千円</p>	<p>決算額</p> <p style="text-align: right;">664. 987千円</p>	
担当課 自己評価	<p>平成21年度から3ヶ年間に亘り実施しており、建物については平成23年7月末に完了し、夏休み期間に新校舎へ移転をおこなった。 屋外環境整備事業の完了により、校舎とグラウンドが一体として完成し、学校としての機能が発揮できるようになった。</p>		

(外部評価委員の意見)

○宇土小を数回訪問したが、整備されたすばらしい環境という印象と同時に、余りにも開放的で十数年前の学校侵入事件を想起した。この事業は「完了」したが、更なる安全対策も願います。

教育委員会としての 今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>
---------------------	--

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	宇土小学校校内情報網(LAN)整備事業	担当課	学校教育課
事業目的	校舎・屋内運動場に高速インターネット網(光ケーブル)のLANを整備することにより、ICT(情報通信技術)化を図る。		
活動内容	・校内情報網(LAN)整備事業(H23. 8. 25竣工)		
予算額・決算額	予算額 13,000千円	決算額	9,712千円
担当課 自己評価	情報教育の一環として、校内LANを整備したことにより、高速インターネットが各教室で行えるようになった。さらにインターネットの情報を取り入れた多様な授業も行えるようになった。		

(外部評価委員の意見)
 ○PTA活動で校内環境整備のボランティア活動をされている学校があるが、教育委員会などが呼びかけて、校内LANケーブル設置の作業をされている例が多数ある。経費削減にもなるので、検討されてはいかがか。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	宇土小学校屋外環境整備事業	担当課	学校教育課
事業目的	子どもたちの最も身近にある学校の屋外環境を様々な体験活動の場として活用し、たくましく心豊かな子どもたちを育成するため、屋外教育環境の整備充実を図る。		
活動内容	・屋外環境整備事業(H24.3. 29竣工)		
予算額・決算額	予算額 119. 473千円	決算額 101. 502千円	
担当課 自己評価	グラウンド・外溝・駐車場を整備をしたことで、学校としての機能がよく発揮できるようになった。		

(外部評価委員の意見)

○出来上がったばかりのグラウンドではあるが、煙のような土砂ほこりが気になる。一部でも芝生化したらとも考えられる(走潟小学校を参考にして)。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	網津小学校屋外環境整備事業	担当課	学校教育課
事業目的	子どもたちの最も身近にある学校の屋外環境を様々な体験活動の場として活用し、たくましく心豊かな子どもたちを育成するため、屋外教育環境の整備充実を図る。		
活動内容	・屋外環境整備事業(H24.3. 19竣工)		
予算額・決算額	予算額 71. 901千円	決算額 62. 308千円	
担当課 自己評価	グラウンド・外溝・駐車場を整備をしたことで、学校としての機能がよく発揮できるようになった。		

(外部評価委員の意見)
特に意見なし

教育委員会としての
今後の方向性

拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・

完了

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	放課後子ども教室推進事業	担当課	生涯学習課
事業目的	放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
活動内容	○水曜日:学習アドバイザーによる学びタイム(国語・算数のドリル学習など)金曜日:地域の方々とのふるさとタイム(スポーツや伝承あそび等の交流活動) ○年2回の運営委員会の開催 ○学期ごとのスタッフ会議の開催 ○放課後学習向上アドバイザー事業の活用 ○参加児童・保護者へのアンケート実施 ○活動スタッフの募集		
予算額・決算額	予算額 922千円	決算額 590千円	
担当課 自己評価	成果:PTA(保護者)から活動指導者への登録を募り、10人の方々に登録していただいた。婦人会等の地域団体とともに班を編成し、班ごとに活動内容を企画・運営していただき、地域の主体性が活動に生かされた。 課題:地域の主体性を活動に生かしていくためのコーディネーターの育成とスタッフの確保が課題である。		

(外部評価委員の意見)

○人吉市では退職教職員をボランティアとして活用しているが、参考にならないか。

○網田小校区の方々の協力により、地域の中で子育てしていく取り組み。これからも支援が必要だと思う。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	学校支援地域本部事業	担当課	生涯学習課
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域が一体となって子どもを育てる体制の構築 ・地域の活性化や学校を核とした地域づくり ・地域住民(学校支援ボランティア)の知識や経験を生かす場の提供 ・教員が児童生徒と向き合う時間の確保 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの募集(随時) ・実行委員会(年2回)、地域協議会(住吉中、鶴城中校区各2回)の開催 ・具体的な学校支援 <ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせの支援(住吉中校区69回、鶴城中校区6回) 校内環境整備の支援(住吉中校区2回、鶴城中校区4回) 登下校安全見守り支援(住吉中校区510回、鶴城中校区388回) 学習支援(住吉中校区11回、鶴城中校区37回) ・事業成果報告会及び研修会の開催 		
予算額・決算額	予算額 2,700千円	決算額 2,017千円	
担当課 自己評価	成果:学校とボランティア(地域住民)とが相互理解とが連携を図りながら、地域ぐるみの子育て体制づくりに寄与している。また、地域住民(支援ボランティア)の知識、経験を生かす場を確保することで、地域の活性化を図り、教員が児童生徒と向き合う時間の確保にも繋がっている。 課題:学校が要望する学習ボランティアの確保が課題である。		

(外部評価委員の意見) ○学校支援ボランティアのルールが大切(学校の内部情報・個人情報, 営利・宗教・政治活動など)。上級生(特に中学生)ほどあいさつの声がない。 ○読み聞かせについては、学習指導要領を逸脱しないようにしてほしい。 ○朝は集団登校で、不審者対策には一定の効果はあると思うが、夕方は学年や部活動により、下校時間帯がバラバラだと思う。特に、下校時の安全見守り支援の活動状況を整理・情報交換し、より安全確保につながる活動になるよう配慮してほしい。 ○読み聞かせのボランティアと子どもが顔なじみになるので、子どもの方から挨拶をしてくれたりする。地域見守りの一助となっている面がある。朗読と違って、読み聞かせは読み手と聞き手のコミュニケーションが重要なので、読み手の研修を含め充実していただきたい。 ○委員会でも何度も話が出ているが、私も中学生への読み聞かせは、どういった効果があるのかと思う。以前は生徒が自分たちで本を選んで、読書の時間として朝の時間を使っていたと思うが・・・ 校内整備、登下校安全見守り等は、是非続けてほしい支援だと思う。	
--	--

教育委員会としての 今後の方向性	拡充 ・ 維持 ・ 縮小 ・ 改善 ・ 完了
---------------------	------------------------

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	人材活用事業	担当課	生涯学習課
事業目的	様々な知識や技術を持つ地域の方々を募り、学校や団体、地域に派遣し、伝統・文化の継承や世代間の交流等を行うことによって、地域の教育力の向上と生涯学習活動の推進を図る。		
活動内容	<p>○指導者の登録活動指導者の確保 登録者数:263人</p> <p>○利用者への派遣実績 派遣件数:30件, 派遣指導者数:延べ107人, 利用者数:2, 122人 指導内容:伝統文化の継承や講話, 絵手紙昔遊びなど</p>		
予算額・決算額	予算額 300千円	決算額 107千円	
担当課 自己評価	<p>成果:指導者登録数, 派遣件数については昨年同様であったが, 利用者については266人増加した。伝統文化の継承といった, より専門性をもった指導者の触れ合いや世代間の交流により, 利用者の学習活動の充実を図っている。</p> <p>課題:派遣指導者や派遣要請内容が偏りがちになっている。 指導項目によっては登録者の高年齢化が進んでいる。 今後は, 広報紙等により, 活動状況のPRを行ない, 新規指導者の確保と利用者の拡大を図ることが必要である。</p>		

(外部評価委員の意見)

○各学校に人材活用制度について, さらに周知してほしい。

○学校のカリキュラム上の問題がなければ, 伝統・文化の継承等は大切だと思うが, 課題にあげられているように, 内容の広がりや新規指導者確保等に努力してほしい。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 · 維 持 · 縮 小 · 改 善 · 完 了
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	図書館蔵書充実事業	担当課	図書館
事業目的	市民の知識・学習の拠点として、図書館蔵書の充実を図ることにより、市民サービスの向上を目指す。併せて、元気な宇土市づくりに貢献する。		
活動内容	年間を通じて、図書の購入を行い、蔵書の充実を図った。 平成23年度の図書購入費は400万円。23年度中の購入冊数は2,374冊。 平成24年3月末現在の蔵書冊数は、85,272冊(前年度末82,864冊)であり、人口100人当たりの蔵書冊数は224冊である。		
予算額・決算額	予算額 4,000千円	決算額 4,000千円	
担当課 自己評価	当館の人口当たりの蔵書冊数は、県内14市のうち、11番目となっており、蔵書冊数の増加を図る必要がある。 課題として、書籍を購入しても配置するスペースに余裕がない。書架の増加及び書庫の拡張の必要性がある。 ※日本図書館協会による数値基準(達成すべき基準値)においては、人口38,095人の自治体の場合、203,566冊となっている。		

(外部評価委員の意見)

○資料館(出来れば博物館)がほしい。

○蔵書冊数は文化水準の1つのバロメーターとも言える。教育委員会あげての緊急課題として改善に努力してほしい。

○毎年、400万円の図書購入費が「多い」「少ない」について県内他市の状況を調べ、比較検討する必要もあると思う。特に、県内14市の中で11番目と蔵書充実が低いので(昨年は12番目)。また、昨年度(平成22年度)の自己評価にも「書架の増加・書庫の拡張が必要」と同じ内容であった。「蔵書充実事業」に加え、「書架・書庫拡張事業」が必要ではないか。

○宇土の文化を充実していくためには、図書館は大切な施設である。早急に拡充されることを望む。

○早期の書庫の拡張を進めてほしい。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	-----------------------------

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	地域教育力活性化事業	担当課	中央公民館
事業目的	子どもを取り巻く地域の新たな教育課題に対応し、地域において人間性豊かな子どもを育てる環境を充実させるため、各公民館を軸として地域の人的物的教育資源を活用しながら週末等にさまざまな体験活動を実施し、地域教育力の活性化を図る。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の協力により、異年齢の子どもたちの遊びや体験活動を通して自主性や創造性を育む活動の拠点を確保する。 ・各地区公民館・自治公民館で農業体験、工作、歴史探訪、昔の遊び、料理教室、環境学習など、年に7回程度を実施。 ・網田、緑川、網津公民館の3館において児童通学合宿(3泊4日)を実施。 <p>※平成23年度は、地区公民館改修のため例年より回数が少なくなった。</p>		
予算額・決算額	予算額 1,072千円	決算額 454千円	
担当課 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・心豊かな子どもを育てるため、各地区公民館や自治公民館を拠点として、さまざまな体験活動の実践を通して、子どもの育成と地域住民の連携を図ることが出来た。また、地域の特色ある取り組みを行うことで、地域住民と子どもたちとのふれあいが深くなり、「地域の子どもは地域みんなで育てる」という気運を高めることに繋がった。 		

(外部評価委員の意見)

○各地区の公民館長が大変ご努力いただき、この事業を推進しておられる。活動内容の工夫・地域の人的資源の発掘及び参加者(子ども)募集に頑張っておられるが、『週末』ということで部活動や諸行事等で参加者が少ない場合もあるようである。とても有意義な事業なので、更なるPRの工夫を願う。

○私も通学合宿にボランティアとして参加させてもらったが、参加した子どもは親の有り難さや食の大切さを感じてくれ、いい体験になったと思う。

○公民館活用の取り組みとして、地域の方々の協力で無理なく進められていくことを願う。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	------------------------------------

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	史跡宇土城跡保存整備事業	担当課	文化課
事業目的	<p>史跡宇土城跡(西岡台)は、発掘調査により、建物跡や堀跡が発見され、戦国期の宇土ひいては熊本の歴史を探るうえで重要な城跡である。</p> <p>遺跡を恒久的に保存するため適切な管理を行うとともに、発掘調査の成果に基づいた整備を実施し、広範な市民層の憩いの場や野外博物館的施設として生涯学習の拠点とする。また、体験発掘等の参加型イベントを通じ、宇土の重要な地域資源として認知度を向上させ、まちづくりの拠点としても活用する。</p>		
活動内容	<p>○三城周辺の遺構配置等の解明及び保存整備工事の基礎資料とするため、発掘調査(第24次調査)を実施した。調査期間:平成23年9月～11月, 調査面積:140㎡</p> <p>○体験発掘 平成23年9月23日実施, 小学生や親子連れなど約20人が参加し, 移植こてやねじり鎌を手に発掘調査に挑戦した。</p> <p>○保存整備工事 第3ブロック三城及び周辺地区において掘立柱建物跡表示工, 雨水排水工, 植栽工(張芝)などの整備工事を実施した。 工事の概要:掘立柱建物跡 1棟, 解説板 1基, 導水状遺構 延長29m, 土塁表示 60㎡, 張芝 1,047㎡</p> <p>○調査報告書の刊行</p>		
予算額・決算額	<p>予算額</p> <p>10,055千円</p>	<p>決算額</p> <p>10,016千円</p>	
担当課 自己評価	<p>第3ブロック(三城及び周辺地区)については、平成22年度から整備の核といえる掘立柱建物跡の遺構表示施設の整備が完了した。保存整備検討委員会や文化庁, 県の指導助言を受けながら事業を実施し, 当初予定した発掘調査や整備工事を実施することができた。また, 平成18年度から毎年実施している体験発掘も, 23年度で6回目となり恒例行事として定着してきているが, 次年度からは, 体験発掘だけではなく, 歴史散策ウォーキングや出土品展示会等を通じ西岡台全体についても, 市民にPRしていきたい。</p>		

(外部評価委員の意見)
特に意見なし

教育委員会としての 今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	文化財サイン計画事業	担当課	文化課
事業目的	<p>宇土市は、国指定2件、県指定9件、市指定106件の計117件の指定文化財が所在する県内有数の文化財の宝庫である。昨今の歴史ブームや地域学習機運の高まりにより、これら重要な文化財を保存・保護するとともに、宇土市の歴史・文化に対する市内外の人々の理解促進を図ることが求められている。</p> <p>そのため、歴史愛好者だけでなく、広範な市民に、市内に所在する貴重な文化財の理解を深めてもらうとともに、まちづくりのツールとしても文化財の積極的な活用を促す。</p>		
活動内容	<p>2基の解説板設置及び補修を行った。</p> <p>①新設・・・諏訪神社(松山町)</p> <p>②補修・・・芭蕉塚(本町6丁目)</p>		
予算額・決算額	<p>予算額</p> <p>130千円</p>	<p>決算額</p> <p>58千円</p>	
担当課 自己評価	<p>本町6丁目の芭蕉塚の補修と松山地区の諏訪神社に解説板を新設したことにより、地元の要望に応えることができた。</p>		

(外部評価委員の意見)
特に意見なし

教育委員会としての 今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	【新規】 網田焼の里資料館活性化事業	担当課	文化課
事業目的	江戸時代後期に栄えた網田焼は、肥後藩の窯元として全国的に知られた焼きものである。この網田焼を復元するため、平成21年度に「藩窯網田焼復元検討委員会」を立ち上げ、現在、地元の陶芸家らの協力を得て藩窯時代の作品の復元に取り組んでいる。地元網田地域の住民をはじめ宇土市内外の多くの方々に、郷土の誇れる文化財、物産としての網田焼について知ってもらい、その素晴らしさを再認識してもらおう。また、復元作品を活用して資料館への来館者数の増加へと繋げ、網田焼と網田焼の里資料館の活性化を目指す。		
活動内容	○JRウォーキング開催に伴う開館業務(4月29日) ○網田焼の里資料館運営委員会の開催(6月9日) ○網田焼復元実演会の開始(毎月第1, 第3土曜日, 午前10時~12時) ○網田焼の里資料館秋まつり(10月30日), 春まつり(3月20日) ○宇城の窯元めぐり作品の展示・期間中毎日開館(10月22日~30日) ○中園邸屋根葺き替え修繕(8,056,960円) ○網田焼の里資料館土壁補修(1,294,669円)		
予算額・決算額	予算額 11,423千円	決算額 11,103千円	
担当課 自己評価	JR九州ウォーキングや資料館まつり等のイベントの開催時には多くの来館者があった。しかし、土・日・祝日しか開館していないこともあるが、普段の来館者は少ない。平成23年7月から新たに実施している網田焼復元実演等、市民に広く周知し、普段の来館者を増やしていく必要がある		

(外部評価委員の意見)

○陶器、陶芸の愛好家はスポーツや文芸等の愛好家比べて非常に少ない。網田焼も廃窯だから希少価値があるのであって、復元されたものに興味を持つ人は限られている。

○せっかくの地元の焼き物をもっとアピールしてほしい。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了 (中園邸屋根修繕費用分縮小)
---------------------	--

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	馬門石調査活用事業	担当課	文化課
事業目的	<p>平成17年に実施した大王のひつぎ実験航海や平成14～17年度の馬門石石切場跡の発掘調査の成果等によって、馬門石に関する市民の関心が高まっており、馬門石製品の分布調査や彫刻等の製品素材としての活用が必要である。また、大王のひつぎ実験航海に使用した物品を管理し、事業成果を公開するための施設建設が望まれている。</p> <p>そのため、石切場跡の恒久的な保存を目指すとともに、宇土市が全国に誇る文化遺産としての重要性を市民に定着させる。また、馬門石や古代船、石棺等の活用を図り、イベントや講演会等を通じて馬門石に関する市民の理解を促す。</p>		
活動内容	<p>○古代船「海王」を活用したイベントの実施(平成23年7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗船体験 ・漕行体験 ・魚のつかみ取り ・勾玉づくり <p>○古代船「海王」等の維持管理及び修繕</p> <p>○馬門石保存活用検討準備会の開催(1回)</p>		
予算額・決算額	<p>予算額</p> <p style="text-align: right;">536千円</p>	<p>決算額</p> <p style="text-align: right;">523千円</p>	
担当課 自己評価	<p>古代船「海王」乗船・漕行体験については、安全のための準備を周到に行い、大きなトラブルもなくイベントを実施することができた。また、イベント時に新たに勾玉づくりを加え、宇土の歴史への興味関心を持ってもらうような取組みを行った。</p> <p>イベントの周知活動に関しては、チラシを学校関係や各家庭に配布し、報道機関にも呼びかけて事前及び当日の取材を行ってもらうなどしてPRに努めた。その結果、目標を上回る人数の参加があったが、漕行体験については年々参加者減少の傾向にあるため、今後の実施方法や参加呼びかけ方法について検討する必要がある。</p>		

(外部評価委員の意見)
特に意見なし

教育委員会としての 今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>
---------------------	--

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	重要遺跡保存活用事業	担当課	文化課
事業目的	<p>宇土市には、国指定2件、県指定9件、市指定106件の計117件の指定文化財がある。このうち、現在は市指定や指定されていない遺跡のうち、将来的に国・県指定になることが予想される重要遺跡が存在する。これら重要な文化財を後世に継承するため適切に管理・保存するとともに、市民に調査成果を公開する等、遺跡や文化財の積極的な活用が求められている。</p> <p>市内重要遺跡の分布調査や発掘調査、出土遺物整理などを実施することにより、国・県指定を見据えた様々な条件を整えるとともに、保存計画等を策定することによって、遺跡の活用や恒久的な保存を図る。</p>		
活動内容	<p>○轟・曾畑貝塚を中心に有明海沿岸地域の縄文文化をテーマにした企画展を図書館郷土資料室で開催した。</p> <p>○周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為の把握</p> <p>○開発行為に対応するための試掘確認調査及び出土品の確認作業</p> <p>○宇土市内に多数存在する遺跡を正確に把握し、適切な保護に努めるため、今年度は花園地区の分布調査を実施した。</p>		
予算額・決算額	<p>予算額</p> <p style="text-align: right;">2,739千円</p>	<p>決算額</p> <p style="text-align: right;">2,497千円</p>	
担当課 自己評価	<p>轟・曾畑貝塚(慶応大学資料)を中心とした特別展を実施したことで、両貝塚の文化財としての重要性をPRすることができた。</p> <p>周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為については、23年度も十分な把握に努め、遺跡破壊の可能性のある開発行為21件については、試掘確認調査や立ち会いを実施した。</p>		

(外部評価委員の意見)
特に意見なし

教育委員会としての 今後の方向性	<p>拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了</p>
---------------------	--

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	文化振興対策事業	担当課	文化課
事業目的	音楽、舞踊など、市民の自主的な芸術・文化活動の日頃の練習の成果を発表し、交流する場として毎年開催されている芸術文化祭を支援するほか、積極的な情報提供や活動支援を行い文化団体の育成に努める。		
活動内容	○文化芸術活動の支援強化のための助成(宇土市芸術文化祭の支援) ・宇土市文化協会へ25万円補助金の交付 ・菊友会へ市長賞, 議長賞, 教育長賞の賞状とあじさいの湯入場券の交付 ・宇土俳句の会へ市長賞, 教育長賞の賞状の交付		
予算額・決算額	予算額 538千円	決算額 538千円	
担当課 自己評価	○文化芸術活動の支援強化のための助成について、宇土市芸術文化祭は日頃の文化活動の発表の場となっており、文化芸術活動を促進するためにも継続して支援していく必要がある。 ○宇土市文化協会等への助成についても、継続していく必要がある。		

(外部評価委員の意見)
特に意見なし

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	小西行長関連事業	担当課	文化課
事業目的	小西行長の人物像や国内外での活躍や功績を再評価することにより、新たな地域資源を生みだし、本市の歴史遺産や伝統文化と併せて、これからの地域の活性化並びに観光の振興を図る。		
活動内容	<p>○9月第1回小西行長講演会(159人参加)と小西行長ゆかりの地散策ツアー(15人参加)の開催</p> <p>○11月第2回小西行長講演会(145人参加)と小西行長ゆかりの地散策ツアー(21人参加)開催</p> <p>○10月1日うと教育の日関連事業・郷土の先人「小西行長公について学ぶ」開催</p> <p>○ドキュメンタリー郷土の偉人シリーズ「うと14万石の礎を築いた戦国武将～小西行長～」制作放送</p> <p>○大阪府堺市(入場者200人)及び博多(入場者70人)においてドキュメンタリードラマ上映会の開催</p> <p>○マスコットキャラクター募集、「うとん行長しゃん」に決定</p> <p>○市立図書館において「海の司令官～小西行長～」展の開催</p>		
予算額・決算額	予算額 13,669千円	決算額 13,299千円	
担当課自己評価	<p>ドキュメンタリードラマを制作・放送したことで、これまでの講演会開催に加え、テレビという広範囲に周知が可能な媒体を活用し、かつ、多くの人になじみやすいドキュメンタリードラマという形で発信するとともに、並行して、講演会、野外学習や小西行長展を開催したことで、小学生から大人まで、さらに小西行長公に興味を持つ人の裾野が広がったと思われる。</p> <p>ドラマの上映会を博多及び大阪府堺市で開催、特に堺市は、『おいでよ堺実行委員会が主催する「小西行長と堺ゆかりの戦国武将～謎多き行長と堺の歴史を探る～」』のイベントとして上映会を開催したことにより、よりPR効果も高く、多くの人との交流促進につながったと思われる。</p>		

(外部評価委員の意見)

○「うとん行長しゃん」の市外での認知がほとんどないようなので、これからの有効的な活用を望む。

○ドラマ制作やマスコットキャラクター募集等、宇土のPRIに努力されていると思う。これからも続けてほしい。

教育委員会としての今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了 (ドラマ制作費用分縮小)
-----------------	--

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	大太鼓活用事業	担当課	文化課
事業目的	市民の主体的な文化・芸術活動を促進するため、「宇土大太鼓フェスティバル」の支援を行うとともに、太鼓文化の保存継承のために、太鼓教室の開催や演奏家が地域や学校に出向いて演奏を行うアウトリーチ事業にも力を入れていく。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・宇土大太鼓フェスティバルの支援 ・太鼓教室の開催(19回, 40人参加) ・小学校へ出向いて生の太鼓の演奏を行う, アウトリーチ事業の実施(小学校4校, 5回) 		
予算額・決算額	予算額 1,513千円	決算額 1,303千円	
担当課 自己評価	<p>○太鼓教室においては、年々受講希望者が増加傾向にあるため継続して実施する。</p> <p>○アウトリーチ事業は、太鼓を叩くだけではなく、雨乞い太鼓の歴史等についてもあわせて学ぶことで、より太鼓に興味を示す児童が増えてきている。</p>		

(外部評価委員の意見)
 ○地蔵祭りと並んで宇土をPRするイベントとして、宇土大太鼓フェスティバルも、ますます工夫を凝らして盛り上げてほしい。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	宇土市歴史資料保存活用事業	担当課	文化課
事業目的	宇土市史編纂事業等で収集した、歴史的、文化的価値を有する資料を市民が気楽に活用できる環境整備を行うとともに、市民に歴史・文化に興味を持ってもらえるよう、これらの魅力をPRし、地域活動等につなげていくために事業を実施する。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○宇土市歴史資料保存活用検討委員を選定し、第1回の検討委員会を開催した。 ○歴史刊行物の発刊:「うと学研究第33号」の発刊、小学6年生を対象にした子どものための宇土の歴史書『ふるさと宇土の歴史第2部「鎌倉～江戸時代」』の発刊を行った。 ○緊急雇用創出事業を活用して、マイクロフィルム電子化事業、データ作成事業及びレファレンスサービス事業を行った。 ○デジタルミュージアムの内容を更新した。 ○宇土の歴史かるたを制作・販売した。 		
予算額・決算額	予算額 17,489千円	決算額 16,062千円	
担当課 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ○宇土市歴史資料保存活用検討委員会で伺った先生方の意見を参考に、資料の保存整理に活用していく。 ○緊急雇用創出事業を活用することで、5ヶ年計画で行う予定だった、マイクロフィルム電子化事業(25万コマ)を、単年度で終了することができた。また、データ作成事業においても、全部ではないが、多くの資料について、目録を作成することができた。 ○宇土の歴史かるたについては、文化財保護審議員の協力により、イラストを活用した親しみやすいかるたを制作することができた。 ○ホームページをドキュメンタリードラマ用にリニューアルしたことにより、アクセス数が大幅にアップ、月平均5,000件のアクセスがあった。 		

(外部評価委員の意見)

- 資料館(出来れば博物館)がほしい。
- ホームページをはじめ、パソコンの活用は今後益々どの分野に於いても不可欠であり、ソフト、ハードともに熟知熟練する必要がある。
- マイクロフィルム電子化事業や歴史かるた制作、またホームページの工夫により、宇土の歴史をより多くの市民にPRする努力をされていると思う。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	体育施設等整備事業	担当課	スポーツ振興課
事業目的	市内体育施設のほとんどが昭和50年代に建設されており、30年以上経過して老朽化が進み、利用に支障が出ているため、利用者がいつでも安全安心な環境のもとで施設を利用できるよう、施設の整備を行い、生涯スポーツの普及及び振興を図る。		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・走湯地区体育館床研磨工事 ・スポーツセンターのバリアフリー化工事 ・スポーツセンターグラウンドのトイレ改修工事 ・浜戸川運動広場の整地工事 		
予算額・決算額	予算額 17,084千円	決算額 16,709千円	
担当課 自己評価	県体育館等バリアフリー緊急整備事業補助金を活用し平成23年度の整備事業も実施計画のとおり年度内にすべて整備が終了した。それにより、安全・安心に施設を利用できるようになり、利便性が向上した。今後も、老朽化の緊急度の状況や、要望等を考慮しながら、計画的に順次改修を行う必要がある。		

(外部評価委員の意見)

○市をあげて生涯スポーツの普及を図って、健康な高齢者の多い宇土市にするためにも、安全にスポーツを楽しむ環境整備を計画的に進めてほしい。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 · 維 持 · 縮 小 · 改 善 · 完 了
---------------------	---

平成23年度 宇土市教育委員会事務事業点検・評価シート

事業名	給食センター施設整備事業	担当課	給食センター
事業目的	衛生管理の徹底と給食業務の充実を図るため施設整備を行う。		
活動内容	蒸気ボイラー1基購入(取替え) 温水製造装置1基購入		
予算額・決算額	予算額 17,605千円	決算額 14,175千円	
担当課 自己評価	老朽化したボイラー取替えと温水製造装置を予定どおり更新できた。今後も、年度毎の施設整備計画を基に進めていく。		

(外部評価委員の意見)

○児童・生徒の健康な成長のため必要な施設整備は欠かせないものである。

○安全・安心な学校給食の運営はとても大事である。定期の安全点検・衛生検査等を徹底し、必要な施設整備は早め早めに対処してほしい。

○老朽化が進んだセンターの維持は大変だとは思いますが、メニュー等の充実を望む。

○安心・安全な給食の供給のために、計画的点検、施設整備を是非お願いする。

教育委員会としての 今後の方向性	拡 充 ・ 維 持 ・ 縮 小 ・ 改 善 ・ 完 了
---------------------	-----------------------------